

033

大型化する台風等による風害から窓を守る 高耐風圧シャッター

取組主体

三和シャッター工業株式会社

従業員数

2,939 人

想定災害

風害

実施地域

全国

- ・ 台風等による風圧や飛来物から窓を守り、人命や住まいを守る高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」を開発。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

防犯対策のみならず防災・減災対策としてのシャッター

- ・ 建材メーカーの三和シャッター工業株式会社は、従来比 3 倍の最大耐風圧 2400Pa の強度を有する高耐風圧窓シャッター「マドモア耐風ガード」を発売した。2400Pa は風圧 88m/秒時の負圧（負圧：建物外部方向に引っ張られる力）に相当し、重さ 2 kg の木材が時速 44km で衝突しても窓ガラスを守ることができる。この耐風圧強度を確保した製品は業界初となる。
- ・ 風圧や強風による飛来物により、ガラスを破損する被害だけでなく、室内に風が吹き込むことで屋根が吹き飛んでしまう被害、吹き込んだ雨が家財を濡らしてしまう被害等が想定される。同社は、平成 30 年や令和元年に観測史上最大級の大型台風が襲来し、多くの被害が発生したことを受け、同製品の開発を進めた。
- ・ 従来、高耐風圧の窓シャッターが存在していなかったこともあり、窓シャッターは、防犯対策として 1 階へ設置することが一般的であった。しかし、同製品は 45m 程度（14～15 階に相当）の中層マンションの窓において要求される耐風圧性の水準を満たしているため、中層マンションの飛来物対策にも活用することができる。
- ・ 実際に台風被害に遭った方や、従来の強度では耐えられないために窓シャッターの設置が進んでこなかった沖縄等の強風発生地域において、同製品の設置の要望が相次いでいる。



マドモア耐風ガード

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- ・ 風害対策以外にも、アルミサッシの結露対策、防犯対策、日射遮断・断熱、プライバシー確保等の効果がある。
- ・ 防火性能も有しているため、延焼の恐れがあり防火設備の設置が義務づけられている開口部にも対応が可能。防火仕様のシャッターを設置するとサッシは非防火仕様でよく、透明ガラスを使用することができるため、平時はすっきりとした視界を確保することができる。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・ 今後は、より多くの建物に設置できるよう、ラインナップの拡充とコストダウンを図っていく考えである。

担当者の声

- ・ 今後も台風被害は増加していくと予想されます。少しでも風圧や強風による飛来物の被害を減らすべく防災・減災への取組を継続して、皆様に安全・安心・快適を提供し、社会に貢献していきたいと思ひます。

問合せ先

三和シャッター工業株式会社 法人番号：7011401012519
TEL：03-3346-3011 HP：https://www.sanwa-ss.co.jp/

サイト URL



動画

